

平成26年 教育委員会第21回定例会秘密会 会議録

日 時 平成26年11月25日（火）

午後 3 時29分～午後 3 時46分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 2 報告

【子ども総務課】

（４）平成27年度予算要求状況の公表

出席委員（４名）

教育委員長	近藤 明義
教育委員長職務代理者	中川 典子
教育委員	古川 紀子
教育長	島崎 友四郎

出席職員（９名）

子ども・教育部長	高橋 誠一郎
子ども総務課長	村木 久人
副参事（特命担当）	大井 良彦
子ども施設課長	辰島 健
子ども支援課長	北村 雅克
子育て対策担当課長	加藤 伸昭
児童・家庭支援センター所長	恩田 浩行
学務課長	伊藤 司
指導課長	佐藤 興二

欠席委員（０名）

欠席職員（２名）

次世代育成担当部長	大矢 栄一
参事（子ども健康担当）	田中 敦子

書記（２名）

総務係長	久保 俊一
総務係員	田口 有美子

近藤委員長 | ただいまから、平成26年千代田区教育委員会第21回定例会秘密会を開会いたします。

子ども総務課長

それでは、先ほど日程の最後にしました第2、報告、(4)平成27年度予算要求状況の公表の議事について、子ども総務課長より報告願います。

それでは、平成27年度予算要求状況の公表についてご報告いたします。

ホチキスどめ、2枚の資料をつけております。こちらのほうをご覧ください。「平成27年度予算要求状況の公表(案)」というものでございます。

こちらにつきましては、予算の作成状況について、その透明性を明らかにするというので、本年度から、要求段階におきまして、その要求内容を公表するという試みを実施することといたしました。

その公表内容の案というのが、こちらの資料でございます。

最初に、平成27年度の千代田区の予算編成方針が出ておりますが、こちらのほうをご覧ください。

基本方針につきましては、ここにございます基本方針1、それから基本方針2、こちらの方針に従いまして、平成27年度の予算編成を行っていくということでございます。

それから、次のページ、裏側、2ページ目に行きまして、こちらに重点事項を記載しております。子ども・教育部関係につきましては、重点事項の3、次世代育成に関する取組みというところに記載がございます。こちらにございますように、「女性の社会進出が進み、ライフスタイルが多様化する中で、安心して子育てができる地域にするため、子育て環境の向上をめざします。今後の保育需要、子育て支援に関する区民ニーズを踏まえ、様々な子育て支援事業を着実に実施します。また、子どもたちが安全にのびのびと遊べる場の確保、生きる力を育み、未来を担う能力を養う教育の推進を充実します」という、こちらが平成27年度の子ども・教育部関連の重点事項ということになっております。

それから、次のページ、こちら、数字のほうはまだ整理中でございますが、各部の予算要求の一覧表でございます。

子ども・教育部については、太枠で囲っているところでございます。平成27年度の要求額は、こちらにございますように、91億1,800万円ということでございます。

それから、次のページに行きまして、子ども・教育部のほうの本年度の予算要求に当たりまして、特に主要事業として挙げたものでございます。こちらのそれぞれの項目に従いまして、それぞれ、3つあるいは4つほどの事業を挙げているところでございます。

こちらにつきましては、来年度の予算要求に当たりまして、子ども・教育部として特に重点的なものとして提示したものでございますが、実際のこの予算要求状況の公表に当たりましては、財政担当等の判断によりまして、この内容とは若干違う内容が重点事項として公表される可能性もございまして、そのあたりはご了承いただきたいと思います。

説明につきましては以上でございます。

近藤委員長

ありがとうございます。

教 育 長
子ども総務課長

いかがでしょうか。ご質問ございますか。

公表の時期と公表の方法を、補足的に説明して下さい。

公表の時期については、まだ未定ですが、来月の下旬あたりを予定しているところでございます。公表は、ホームページ等によって公表いたします。

近藤委員長
中川委員

どうぞ。

この重点事項の中の次世代育成に関する取組みというところですけども、教育委員会の事業などはすごく重要なことになってきますし、教育という視点からどういうふうに重点的にやっていきますということが、この重点事項3の次世代育成に関する取組みの中には少ないんじゃないかという気がするんです。

例えば、一番最後のページのグローバル社会に活躍する云々とか、それから、安全にのびのびと成長できる環境を整えるというようなこととか、この辺のことを、もう少し重点事項の中に入れてほしいんじゃないかという気がします。ICT教育の推進だって、今、力を入れているし、国際教育をどうしようということも、今、この3つはすごく大事なことだし、そういうことをもっと重点事項の中に入れてほしいんじゃないでしょうか。

近藤委員長
教 育 長

どうぞ。

私から少し補足を。この2ページ目の重点事項は、千代田区全体として平成27年度予算を編成するに当たって重要と思われる課題について、区全体の協議検討の中で抽出したものになっています。基本的に、危機管理に関する取組み、保健福祉に関する取組み、次世代に関する取組み、この3つについては、ここ数年ほぼ同じような柱立てで、区としての大きな毎年度の予算編成の主要事項となっています。

重点事項の4番目の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした取組みについての部分は2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控えて、今回、平成27年度予算から新たに予算編成の際の重点事項として取り入れたものです。

子ども・教育部、教育委員会としての立場からすると、さまざまに今抱えている教育的課題、例えば中川委員がおっしゃったICT教育の推進ですとか、そのほかに、きめ細かな指導ですとか、あるいは特別支援に対する対応ですとか、重要な部分は当然あって、それは部としての予算編成の際の非常に重要な事項と認識しているところですけども、千代田区全体として見た場合の区の大きな予算編成の方針としては、危機管理ということと、それから、高齢社会を迎えるに当たってのさまざまな高齢者への支援ということと、待機児ゼロですとか、あるいは学童クラブの待機児のゼロですとかを含めて、これからの千代田区を支えていく子どもたちが、安心して生み、育ててもらえるような環境を作っていくということが基本にあるという認識から、この重点事項については捉えられたものです。

それぞれの部単位で見れば、ここの中には、例えばまちづくりですとか、環境対策ですとか、区民生活への支援、例えばマンション住民に対する対応

ですとか、細かいレベルではいろんな千代田区の課題はありますけれども、千代田区全体として大きく見た場合に、この4点を平成27年度の特に重点的に取り組む事項に位置づけたという経緯でございます。

近藤委員長

教育長のほうからお話をいただきました。

今までも予算編成方針でいろいろご説明いただいたときには、区の方針があって、そこからいろいろ問題というか、項目が波及していったって、教育委員会としてはというご説明で、私どもも納得ができていたわけですが、今日、こうして要求状況の公表ということで、一番の大もとと、教育委員会のより具体的なものが出てくると。これだけを見ると、どうしてもつながりが薄いなというイメージを抱いてしまうので、今のような中川委員のご質問があったんだと思うんですね。

今の教育長のお話で理解されたかなとは思いますが、いかがでしょうか、ざっくりばらんなどでお話いただければ。

中川委員

せっかく予算要求状況の状況を公表するんだったら、もう少し、こうこうだからこうするという形をはっきり示したほうが、区民にとっても公表される意義はあるんじゃないかと思うんですけど、今、ここに書いてあるのだと、平成27年度予算案の概要というのと変わらないような気がするんですね、これだったら。

教育長

この予算要求段階での公表は、昨年度まではやっていなくて、今年度から新たに始めたもので、この段階での公表内容が、この1枚だけではなかなかわかりづらいというご意見はそうかもしれません。

この事業名を見ただけでは、その内容については触れられていないので、各所管部が一義的に予算要求した内容が、この1表だけではなかなかわかりづらいというご意見は確かにもっともだと思いますし、それについては、今後、区全体の調整の中で、もう少しわかりやすいような形での改善が求められているかもしれません。今までは所管部が要求したものの公表ではなくて、所管部が要求した上で、区全体の中で、財政的な視点から、さまざまな調整が入ったり、あるいは区長の考え等も踏まえて、調整が入った後の、区として予算案として取りまとめたものについて、それは冊子となるような形で、予算案の概要という形で、かなり詳しく区民の方にも公表させていただいたので、この時点での公表も、もう少し詳しい内容についての説明があれば、区民の方にも、各所管部の求めているものとか期待しているものがわかっていただけるので、今後そういう形での工夫も求められるかと思えます。

ただ、今のところは、全庁的な調整の中で、今年度初めてやる要求段階での区民の方への公表ということで、とりあえず今年度は、このレベルで全庁的に統一してやっていこうということになっているという、庁内の状況です。

中川委員

もう一つだけです。今、私が見ているのは教育関係ですけども、ほかのところでも、こういう要求額と予算額が出てくるわけですね。そうした場合に、途中で公表した場合に、いろいろな意見や何かが出てきますね。

